



議会だより

けんぶち



©kembuchi town



かっしどうにいきたい

令和2年度予算決まる.....	2～5
予算特別委員会 質疑レポート.....	6～9
第1回定例会.....	10～11
一般質問 3名が登壇.....	12～14
特集 福有会に聞きました.....	15
みんなの声がまちづくり.....	16

No.130

2020年5月発行
(令和2年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

高速道路接続 道の駅P A
基本計画策定業務

848万円

東中央団地公営住宅建設 工事

1億3,704万円

馬鈴しょ生産振興対策事業補助金

400万円

令和2年度は7号棟1棟4戸を建設。(写真は令和元年度建設の6号棟)

10㌦あたり1,000円の補助を4,000円に増額

関連質疑6 P

洪水ハザードマップ

400万円

写真はH22年度作成のもの
関連質疑9 P

学童保育所内にエアコン設置

30万円

部分的に涼める場所を確保
関連質疑7 P

新規
事業

令和 2年度 ことしのしごと ピックアップ。

防災行政無線 設備更新

2億3,650万円



基地局と野外拡声器、戸別 受信機をデジタル化更新
関連質疑6 P

小中学校にタブレット型
ノートパソコン購入

156万円

児童用18台と教師用として購入
関連質疑9 P

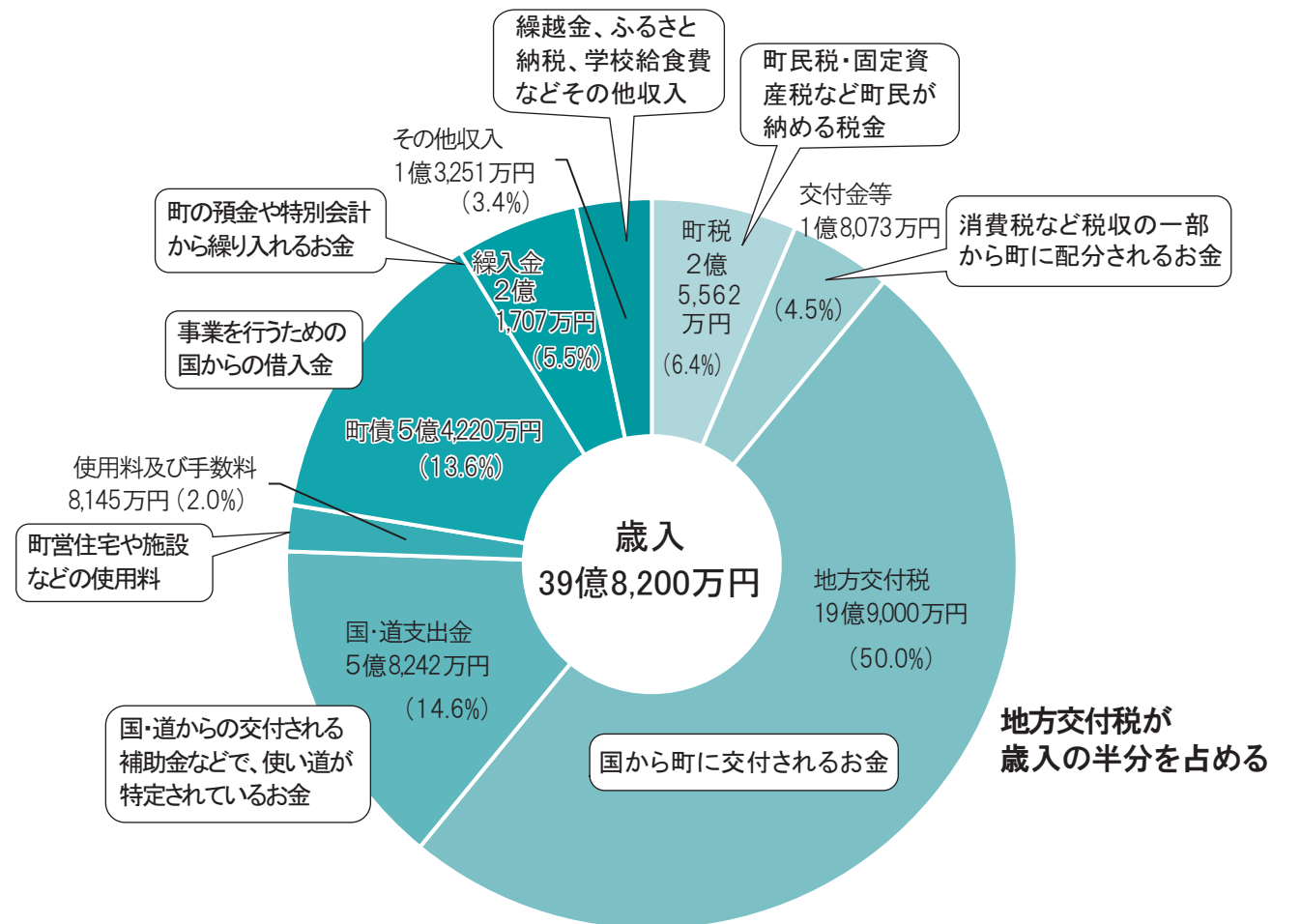
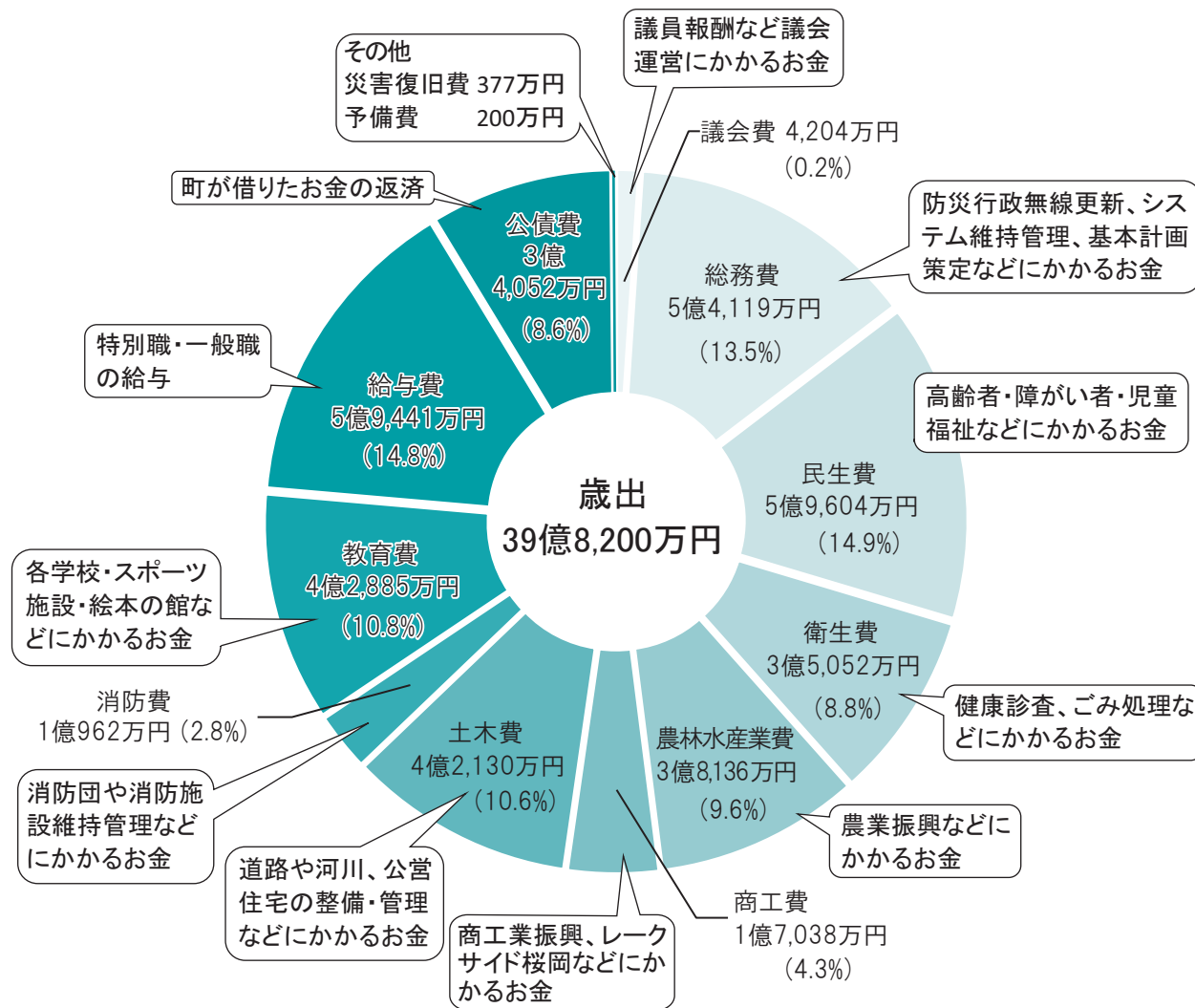
地場産品加工研究センター
ソーセージ加工用ガス回転釜購入

152万円

町民のくらしを支える予算

町民1人当たり119万円

財政調整基金、減債基金からそれぞれ
9,500万円繰り入れ厳しい予算編成となる



会計名	予算額	前年比
一般会計	39億8,200万円	2億4,400万円増
国民健康保険事業特別会計	5億7,920万円	690万円増
国民健康保険町立診療所特別会計	9,100万円	400万円増
後期高齢者医療特別会計	6,150万円	780万円増
介護保険事業特別会計	4億7,750万円	660万円増
簡易水道事業特別会計	1億2,070万円	1億2,480万円減
下水道事業特別会計	3億1,790万円	6,010万円増
総額	56億2,980万円	2億460万円増

今年度は防災用行政無線設備の更新や東中央団地7号棟の建設などが予定されており前年度に引き続き厳しい予算編成となった。

近年、各種計画策定業務などへの委託料や各システムの改修、保守点検費用の負担が増え、経常経費増加の一因にもなっている。

経常経費の削減に知恵を絞り、効果的、合理的な取り組みを進めてもらいたい。

(予算特別委員長報告より) 卯城規伊

	30年度末	令和元年度末	令和2年度末(見込み)
町債 (特別会計含む)	44億757万円	43億8,176万円	45億5,981万円
町債 (町の借金)	34億5,349万円	34億6,600万円	36億8,412万円
基金 (町の貯金)	19億7,985万円	18億7,014万円	16億6,787万円

令和2年度
予算審査特別委員会

予算審査特別委員会の中で出された主な質疑の概要を掲載します。

住宅新築改修助成事業

生出委員

地元の建築業者がなくなり町内の業者だけで住宅の新築改修を行うことが難しい状況になってきている。町外業者に対する補助金の額を町内業者と同等にするなど見直す考えはないか。

早坂町長

移住定住或いは町内の住環境がよくなることに加えて、建築技術を持つ方が町内に育ってもらうことや、補助金の一部を商品券で発行して町内で使ってもらうことで町内の産業振興につなげる狙いもある。今後の課題としたい。

酒井委員

補助金の3分の1を商品券で交付しているが、町内の商工業者を助ける意味でも2分の1にできないか。

早坂町長

町民にとっては全て現金の方が

いいと思うが商工業者とのバランスを考えると現在の割合が妥当である。

ふるさと納税

大澤委員

ふるさと納税の返礼品は近隣の町と比較して内容にそこまで差はないが、寄付額の差は顕著なものがある。現在利用しているウェブサイトに2つあるが、最近の利用者数を検証し、新たな選択肢も含めて見直していく考えはないか。

渡邊総務課係長

現在3つ目のウェブサイトを取入れる方向で検討している。

生出委員

3つ目を考えているとのことだが、サイト利用料や経費の関係なども勘案しながら進めるべきと思うが。

渡邊総務課係長

寄付額に対してサイト利用料、返礼品や送料含めて経費が6割を占めている。町のPRのためには、ウェブサイトの活用は必要なので、バランスを考えながら進めていきたい。

防災行政無線更新

岡委員

デジタル化への更新により文字表示を行うことができる戸別受信機とあるがどういうものか。

原総務課係長

放送内容を文字にできる機械。

耳の聞こえない方に対応しているが、対象者の人数の把握はできていないため10台分を計上している。

酒井委員

耐用年数はどれくらいか。

原総務課係長

一般的には約10年である。既存の機器も17年使用しているため、相



<https://www.furusato-taxi.jp/city/product/01465>

ふるさとちよいす



<https://www.rakuten.co.jp/f014656-kembuchi/>

楽天ふるさと納税

当の年数は使えると認識している。

道の駅PA化基本計画

大澤委員

道の駅パーキングエリア基本計画策定業務は、道路用地や駐車場に関して協議するだけで、道の駅本体のリニューアルは盛り込まないのか。

穴戸町づくり観光課長

駐車場の大きさ、形などについての設計を、ネクスコと開建と協議するためのもの。道の駅の拡張などは盛り込まれていない。

大澤委員

この事業に期待している民間業者、団体も町内にいる。今回の策定業務が道路用地に関してだけであるなら同時進行で道の駅リニューアルの戦略を練っていくべきと思うが。

穴戸町づくり観光課長

まずは関係団体との協議を先行させ、完成が見えてきた段階で道の駅をどうするか協議に入ることになる。それでは遅いとは思いますが時間のかかる問題なので、まず駐車場等に関して策定し協議を前進させたい。

酒井委員

この策定業務に850万円ほどの委託料が出ている。財政難だといふのなら、名寄までの高速道路延伸すら未定で、先が見えない中で慌てて計画の策定業務だけ作る必要もないのでは。

穴戸町づくり観光課長

名寄までつながってから協議を始めてはかなりの年数がかかる。平成28年度の国交省からモデル事業の認定を得たことが契機となり、

国、ネクスコ東日本、あわせて関係機関が支援をして事業を推進していくとのことなので、高速道路延長を待たずに整備をしていきたい。

酒井委員

パーキングエリアとサービスエリアでは性質がかなり違う。道の駅のリニューアルもない中で、利用があるかを考えるとかなり勝算が薄いと思う。財政難の中で無理して進めることではないと思うが、国から認定を受けたことで、確実に支援は受けられるのか。

穴戸町づくり観光課長

支援していくということは聞いているが具体的には示されていない。現在の進捗率を考えてもまだ始まったばかりなので、今後の協

議を加速させるためにも基本計画は必要。

福祉

酒井委員

社会福祉協議会への補助金が毎年少しずつ上がってきている。民間の事業所であれば施設や運営費などは、自前で準備することが前提であることを考えれば、経営健全化に向けてもう少し厳しい対応をしていくべきでは。

精進健康福祉課長

本年度計上している予算は要望の満額ではない。社会福祉協議会の自助努力も促しながら補助金額を算定している。

緊急通報装置

佐藤委員

緊急通報装置は新規設置が10台、撤去が10台とあるが、計上された予算の中で他にどのようなものにお金が使われているか。

高橋健康福祉課係長

機器の使用料と委託先からの安否確認の電話や、相談窓口に係る経費などが含まれている。

子育て

岡委員

近隣に在住で資格を持ちながら現在働いていない保育士を把握して、確保に努めていく必要があると思うがどのように考えているか。

萩尾住民課長

正規職員の確保を優先しながら待機児童を作らないように対応している。潜在的な保育士については、なかなか働く希望条件などが一致しないので雇用までは至っていません。今後も様々な方向性から保育士の確保を検討していきたい。



高橋毅委員

学童保育所にエアコンを設置する予定だが夏の暑さに十分対応できるのか。

萩尾住民課長

以前から施設自体の風の通り抜けが難しいところが指摘されていたが、今回は東側のじゅうたんを敷いているフロアに設置を考えている。全館に設置は財政的に厳しいため、まずは涼める場所を確保していきたい。

畠山弘美委員

新事業の産後ケア事業の実績は。

松村健康福祉課主幹

3名の方で延べ9件の利用があった。一人につき回数は5回まで利用可能だが満度に使う方、1、2回の利用で終わる方さまざまである。助産師や保健師など連絡を取りあいながらサポートしていく体制をとっている。

農業対策

畠山弘美委員

キヌアの農薬試験の目的は達成したのか。

長谷川農林課係長

事業自体は完了している。分析データなどを農薬登録会社にすべて提出していて、現在会社のほうで農薬登録に向け関係機関と協議しているところ。

大澤委員

農業ブランド化のインターネットショップ運営は、なかなか成果が上がっていない。現在、リンクサイドに業務を委託しているが、会社の経営改革で他に手が回らない状況なので、熱意のある農業団体なども踏まえて体制の改革を協議していくべきでは。



絵本の里けんぶち町～おいしい通販～

山下農林課長

現代においてネットショップは欠かせないものと考えている。熱意のある農業者もたくさんいるため、委託先の変更も含めて継続する方向で検討していきたい。

岡委員

農業体験受け入れ事業として新たにどのような取り組みが.

長谷川農林課係長

春・秋に札幌で北海道農業公社が主催する農業体験フェアがある。その中で希望者を募り、応募のあった方の体験したい内容などを、農業体験受け入れ協議会で協議し、うまく合致した作物があれば受け入れていきたい。

加工センター

生出委員

加工センターの建物が非常に古くなってきているが、今後の改修の予定や備品の更新などの計画はあるのか。備品台帳を確認して耐用年数などを調べ、計画的に更新を行っていかねばならないと思うが。



備品更新が望まれる加工センター

山下農林課長

人気の高い施設なので、今後備品台帳を確認しながら稼働状況と利用者の声を考慮して順次改修していきたい。

商店街空き店舗活用事業

佐藤委員

家賃補助として商店街空き店舗活用支援事業補助金が計上されている。今後町内の空き店舗を活用した事業継承対策の充実はUターン対策としても重要であり、他人に権利を譲り空き店舗を活用していくことも想定して進めていくべきではないか。

穴戸町づくり観光課長

事業継承については、様々な形を想定し、できる範囲で支援していきたい。上川総合振興局で会議が開催された時などには様々な事例の資料もいただいているので、商工会に情報提供を行いながら進めていきたい。

畠山真紀子委員

新商品開発・販路開拓支援事業補助金とはどういうものか。

山下農林課長

町内の個人若しくは団体が新商

品を開発する際にかかる経費などに対し補助をするもの。



商店街の空き店舗を活用したカフェ

桜岡公園

高橋毅委員

高台パークゴルフ場の閉鎖に関して、跡地を放置していると雑草が生い茂り、虫等も含めて景観が悪化する恐れがある。キャンプ場の利用者に対してもマイナスにならないよう対策が必要と思うが。

穴戸町づくり観光課長

経費が掛からない様な方法を研究してみたい。

生出委員

高台コースで利用していた券売

機を湖畔コースに移動し、利用料を徴収して適切に管理していくべきと思うが。

穴戸町づくり観光課長

利用料を徴収することになると条例改正も伴うので内部で検討していきたい。



かつては賑わっていた高台パークゴルフ場

畠山真紀子委員

レークサイドの施設管理で今年度は大きく改修が必要なものはあるのか。

穴戸町づくり観光課長

温泉を温めるために必要な熱交換機の修繕を予定。

道路維持

大澤委員

町道舗装補修工事費は年300万円ほどしかなく、毎年行われている土木調査であげられる自治会からの要望になかなか応えられていない。全町的に道路や道路排水の劣化が進んでいる所がある中で、今後に向けて増額検討すべきではないか。

中村副町長

町全体の財政事情と他の部局とのバランスを考えて予算編成しているため、土木の予算だけを増額することはかなり難しい。何年かは町民の方々にも我慢していただかなければ財政上無理が出てきてしまうのでご理解いただきたい。



早期に補修が望まれる町道

ハザードマップ

高橋毅委員

これまで道が作成したハザードマップでは町の小河川まで網羅されていなく、実際に浸水する地域が明記されていなかった。新規事業である洪水ハザードマップ作成業務ではその点が改善されるのか。

佐藤建設課係長

中小河川に関しては、道から新たに洪水氾濫危険区域図を簡易的な方法で示したものが提供されたのでそれらを追加して作成していく。

教育用コンピュータ

岡委員

現在GIGAスクール構想が進められているが、タブレット型パソコンは今後もリース契約を続けるのか、または補助金を活用し購入を検討するのか。

金村教育課長

小・中・高のパソコン関係の経費は合わせて年1400万円にのぼっている。現在の補助の上限や各市町村単位でどのように対応していくのか、明確になっていない点も多々あるので、今後の流れを見極め方針を立てていきたい。

※GIGAスクール

構想とは

全国の学校で義務教育を受ける児童・生徒に1人1台の学習者用PCや高速ネットワーク環境などを整備し、子どもたちの個性に合わせた教育の実現を目的としている。



第1回 定例会

2/28 ~ 3/16

第1回定例会の会期は18日間。初日は町長から施政方針、教育長から教育行政執行方針の表明があり、3月6日は一般質問に3名が登壇、条例制定や条例改正の審議を行いました。最終日には補正予算について審議を行い、本定例会に出された議題は原案通りすべて可決しました。

予算特別委員会

令和2年度会計予算は、9日〜12日まで行われた予算特別委員会で慎重に審議を重ねた結果、一般会計ほか6特別会計予算を全て可決しました。主な質疑内容は6〜9ページに掲載しています。

賛成討論

高橋毅委員
地方財政が厳しくなる中、剣淵の基幹産業である農業では日米貿易協定やTPP11の発効による影響が心配され、国・道の対策と併せ町の取り組みも重要です。その中で馬鈴しょ生産対策補助金を倍額にしたことを評価します。

福祉医療では、特定検診の受診率が職員の努力で全道一になったことは誇らしく、受診を町民の健康管理や病気の予防につなげてもらいたいと思います。新型コロナウイルスの影響で収益減が予想される道の駅・レークサイドもお客様が少ない時にこそ接客の原点を考え、本当に何が大切かを考えるいい機会だと思います。レークサイドがお客様に喜ばれ、収益の向上にもつながるよう切望し、令和2年度予算の賛成討論いたします。

条例改正

地域支援事業

配食サービス利用料金改定

●剣淵町地域支援事業条例

高齢者(要支援1・2及び町の総合事業対象者)が利用する配食サービスを、令和2年4月から1食あたり100円値上げし400円に改定します。改正理由は、消費税率の引き上げや介護人材の処遇改善のための報酬改定が行われたことによるものです。



100円値上がりし400円になりました

条例制定

学校給食費を 公会計化に移行

●剣淵町学校給食費の管理に関する条例

これまで学校給食費は、剣淵町学校給食会が管理・運営する私会計で行っていましたが、文部科学省から学校給食費の徴収・管理業務を地方公共団体の業務として行う公会計に移行するよう通知されていることから、剣淵町においてもこれに準じ移行するものです。

また、消費税の引き上げや食料料費の高騰により令和2年4月から給食費を改定します。

令和2年4月から給食費を改定

区分	1食あたり	年額
小学校	279円(23円)	55,800円(4,600円)
中学校	321円(27円)	64,200円(5,400円)
高等学校	389円(25円)	73,910円(4,750円)

()内は値上げ額

超過勤務の 上限規制を導入

上限規制を導入

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例

職員の長時間労働を是正するため通常業務に従事する場合、超過勤務命令ができる時間を月45時間、年360時間とするものです。

質疑

酒井議員

一般業務の中で45時間を超えるときはどうするのか。

上林総務課長

超勤命令は課長専決ではなく副町長決裁を含めた上で命令を出す手続きになる。

町道認定

東中央団地公営住宅建設に伴い、道道温根別剣淵停車場線を起点とし西4丁目まで7号棟6号棟の前の道路を町道に認定するもの。



新しく町道となった道路

条例改正

住宅新築・改修 助成を3年間延長

●剣淵町住宅新築・改修促進助成事業条例

住宅の新築工事及び改修工事費用の一部を助成することで、住宅環境の向上に資するとともに町内の商工業の振興を図ることを目的として平成23年に制定されました。

今回、制定の趣旨や移住定住に大きく寄与していると判断し、令和5年3月末まで時限を延長するものです。

※予算特別委員会において質疑がありました。6頁を参照下さい。

建設業者が自ら行う住宅工事で、工事に要する費用が100万円以上のものが対象となります。

補助金の交付額

	町内の建設業者	町外の建設業者
新築工事	60万円(定額)	定額の2分の1
改修工事	30万円(定額)	定額の2分の1

上記補助金の3分の1を剣淵町共通商品券振興会が発行する剣淵町共通商品券で交付します。

補正予算

長寿命化下水道施設

改築事業の縮小で

7575万円の減額

●下水道事業特別会計

質疑

卯城議員

補助が先なのか工事が先なのか。補助事業で元来の見込みから3分の1に減るといのはどうなのか。工事の内容で変わった点があるのか。

館野建設課長

浄化センターの改築に関しては機械設備を順次改修している。令和元年度は要望に対して4割しか手当されなかった。補助がついただけのことを、対象事業費を抑えて実施していくことが今後も続くと思われる。

一般会計1億241万円

を基金に積み立て

財政調整基金と減債基金にそれぞれ4500万円、公共施設整備基金に700万円、ふるさと応援基金に550万円積み立てするものです。

要望意見書

●子どもの医療費無料化制度の拡充を求める
要望意見書

要請団体…子ども医療費無料化を求める

北海道ネットワーク

問 JR東六線・北剣淵駅の存廃は



高橋 毅 議員

答 維持・改修費の負担は難しく廃止の方向で

高橋 議員

JR北海道は経営難から極端に利用客の少ない東六線駅と北剣淵駅の廃止を求めており、存続する場合には年間約200万円の維持費負担が必要とされている。

両駅とも地元の人が長年要望しやと開設でき、通学通勤・病院通い・買い物などに利用され地域住民が愛着を持った駅である。

また、町内7か所の踏切は、田畑が広範囲になってきている農家にとつて農作業などの移動には欠かせないものである。

踏切や無人駅周辺では鉄道ファンが剣淵の鉄道遺産でもある深川林地を背景にカメラを構えている姿を見受けることもある。

利用客が少なくなったとしても廃止となれば住民の理解が不可欠である。地域住民への説明をどのように行うのか。

早坂 町長

JR北海道は平成28年11月に単独では維持困難線を公表し、設備の見直しやスリム化、運賃の値上げ、沿線住民へ利用促進策の実施、上下分離方式と呼ばれる運行会社と鉄道施設保有会社を分ける方法の検討を打ち出した。

こうした中で利用客の少ない無

人駅の廃止を提示された。町としては維持管理費や施設の改修費がかさむことから、利用が少ない無人駅を廃止検討することはやむを得ないと考えている。更にJRは踏切も経営改善の取り組みとして廃止や整理を提案してきているが、現在無人駅ほど論議が進んでいない。本町のように町の中央を横断する線路状況を踏まえて判断したとき、踏切廃止が住民の生活や農業などの経済活動に多大な影響を与えることから反対の立場で粘り強く論議していく。

町民に対しては住民説明会を開催し、JR北海道の方針と町の考え方を説明し、住民の意見を聞きたい。新型コロナウイルスの状況を見て開催する予定である。

高橋 議員

今の小・中学生が将来通学で利用することも十分考えられるが、子どもたちの年齢や動向を把握し、地元の希望に沿った形で進めてもらいたい。

早坂 町長

町民の意見を聞く中で、自治体として多方面から検討し判断をしていく。





佐藤勝彦 議員

問

移住定住推進組織、コーディネーターの配置、空き家情報などをサポートする体制の整備が必要ではないか

答

協議会の必要性も含め総合的に判断をしたい

佐藤勝彦 議員

本町においても少子高齢化が進む中、U・J・ターンなど都市圏から地方への移住定住の動きが高まってきている。それぞれの自治体では移住者支援制度を工夫し、移住定住者の受入れ促進をしている。現在、町として、年々進む人口減少に対する移住定住、特に空き家対策について伺いたい。

早坂 町長

「絵本の里けんぶち まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」を策定し人口減少の抑制に向けた施策に取り組んでいる。今後これらの施策は、適時検討を加え着実に進め、ホームページやSNS等を活用し情報発信していく。

佐藤 議員

昨年同様のテーマで質問した際、平成31年度に地方創生交付金事業の移住支援に取り組むとあった、1年経過し事業の成果は。

穴戸 町づくり観光課長

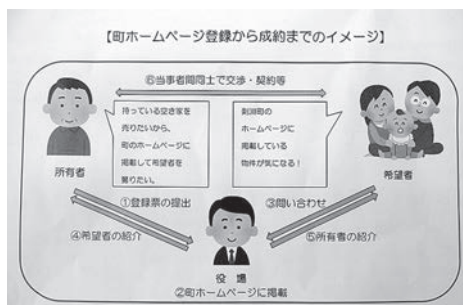
地方創生交付金を活用し、移住者に対して交付金を支給する事業だが、剣淵町に移住を希望する人は今のところ現れていない。

佐藤 議員

移住に関しては年代により条件が変わり子育て中、これから結婚する若者が主体になって欲しいが、特に住宅が大切だと思う。町ホームページの空き地・空き家情報では実績がないので、ホームページ登録から成約までのイメージを含め周知方法を一度見直してはどうか。

早坂 町長

空き地・空き家情報は地権者・所有者の理解を得ないと掲載できないが、件数が多ければ注目度も上がるので今後改善していく。



佐藤 議員

移住定住に積極的に取り組む移住者増を実現させている市町村は

多数ある。国交省の空き家対策総合支援事業では、民間と連携し空き家対策協議会などを構築すれば補助対象となる。このような国の事業を活用する考えはないか。

早坂 町長

空き家対策として、民間との連携事業は非常に興味があるので検討したい。

佐藤 議員

昨年から公営住宅の整備が進んでいるが十分ではない。今後は移住定住推進組織、移住定住コーディネーターの配置、空き家情報など、移住定住希望者が必要とする情報をフックでサポートする体制の整備が必要と考える。町財政は厳しいが国、道の補助金の活用、町長の強いリーダーシップをもって移住・定住に関する空き家・空き地活用の組織づくりを進めていく考えはないか。

早坂 町長

他町村での具体的な内容の成功例を聞き非常に興味を持った。行政も地域とひとつになり、協議会の必要性も含め総合的な検討と判断をしたい。

問 農業6次産業化についての取り組みは



畠山真紀子 議員

答 保育所、学校給食で地元食材を積極的に利用している

畠山真紀子 議員

6次産業化、地産地消法（地域資源を活用した農林漁業者による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律）が制定されている。町はこれに関わる取り組みとしてどのようなものが望ましいと考えるか。

早坂 町長

町では「第二次食育計画」を地産地消に関わる計画として位置づけ、ホームページで公開している。食育を総合的かつ効果的に進めていくため、地産地消の推進を目指す関係団体と連携しながら取り組んでいる。

地域農産物の利用は、主に保育所、学校給食などで地元食材を積極的に利用している。また、道の駅農産物直売所では、協議会運営に係わることで、地産地消を普及させる場になるように努めている。

畠山 議員

生産から製品化、そして販売に至る過程で、製品化に至る啓発、推進に関してはどうか。特に考えている方向性はあるのか。

早坂 町長

特産品開発ブランド化としても進めている。6次産業化というだけではなく、幅広い形の中で地場産品を開発している。起業化支援という部分では、農業者の取り組みやすい方向で制度を利用してほしい。

農業だけではなく、他の異業種産業に進出していても、応援したい。いろいろな方向性を探りながら対農家・生産法人を支援したい。



地元食材を利用した
保育所の給食

「住民への災害対策用品の推進について」

畠山 議員

町の防災食品の備蓄が充実していない。町で備蓄できない分は、住民自身で負担してもらったべきであり、町は試食会などを通して、自主防災を啓発、推進してはどうか。

早坂 町長

備蓄品を各家庭でそろえてもらいたい。町は非常食として、一日3食を基準に50人分3日分備蓄している。自主防災の推進としては、自治会などの協力をお願いしながら、防災研修や避難訓練、災害図上演習、避難所運営シミュレーションゲーム等を実施している。

畠山 議員

高齢者世帯についてはどう考えているのか。

早坂 町長

避難がすぐできない方に関しては要避難援護者としてリストアップしており、包括支援センターが日常的にフォローしているが、在宅が難しくなれば避難所、福祉避難所という形で対応していく。

福有会

今回は農産加工グループとして活動されている福有会の皆さんに活動の中で感じていることについてお話を伺いました。

町内産(道内産)にこだわり下ごしらえから袋詰めまで一貫して手作業で作っています

【活動の経緯と内容について 教えてください】

- ▽平成6年に町から呼びかけがあり漬物好きの主婦が集まり、福有会を結成しました。
- ▽当初は10名で振興センターの1室を研究場所として使って活動させていただきました
- ▽山菜を取りに行ったりして捨てる食材を活用したくていろいろ研究していましたね。
- ▽平成10年に食のふるさと館が建設され本格的な研究と販売ができるようになり、大変感謝しています。
- ▽無添加なので日持ちしないですが、安心安全な食品を製造・販売することを理念にしています。



一緒に作りませんか

【悩みや課題はありますか】

- ▽人手が足りないので一緒に作ってくれる人を募集しています。

町の特産品づくりに貢献したい

【町や議会に伝えたいこと】

- ▽町の後押しや町民の協力があって活動ができることに本当に感謝しています。
- ▽道の駅のテイクアウトメニューが増えるといいと思っています。私たちの活動を通じて町の特産品づくりに貢献できればと考えています。

【今後に向けて】

- ▽新商品の開発や研究にも力をいれていて、バター餡とチーズ入り白餡の饅頭を発売します。今後はアロニアグミも考えています。
- ▽今後は販路の拡大にも取り組みたいと思っています。
- ▽剣淵の農産物や食品の良さを多くの人に知ってもらいたので伝える役割を続けていきたいですね。

みんなの声がまちづくり

①剣淵町をどう思いますか？

子どもたちが素直です。
子ども会や自治会単位で集まる機会など、人と人とがつながれるイベントが多くあります。
支援センターが利用しやすく小さい子どもがいる家庭同士のつながりが作りやすいです。

西 町
むか い ゆう と
向 井 裕 人 さん



②もし町長になったら何をしたいですか？

移住定住に力を注ぎたいです。働く場所の確保に課題はあると思いますが剣淵に住むと「こんな良さがあるから安心してきてもらいたい」と明確に伝わるような方策を考えたいです。
子どもたちがのびのびと遊べる環境を整えたいと思います。発達の段階に応じた遊びができるようにケガや犯罪のリスクが少なくいつでも遊べる公園や運動施設をつくりたいです。

旭 町
おお くま ゆ か
大 熊 由 佳 さん



①剣淵町をどう思いますか？

景色がきれいで食べ物がいちよく、子育てがしやすい町だと思います。

②もし町長になったら何をしたいですか？

道の駅の駐車場で寝泊まりしているドライバーのために温泉を引っ張って足湯を作ったり、シャワールームなどを整備し、レークサイドのPRもしていきたいです。

雇用対策、人口減少対策として、福祉系学校への進学者を対象に奨学金制度を創設する。卒業後に町内の福祉事業所へ就業した時は、返済を免除するような仕組みを作りたいです。

まちの未来を考える

次回定例会は
6月18・19日の
予定です



©kembuchi town

広報委員長 岡 康照

新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するため数々のイベントの中止や臨時休校、外出自粛により町民や、町内の産業に多大な影響がでています。
そのような中、3月定例会において令和2年度の予算案の審議が終了しました。今号では、みなさんの税金の使途、町の現在の財政状況と町民の声に焦点を当て編集いたしました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。
今後とも議会で何を議論し、何を決めているのか。町と議会の今を伝えながら、読みたくなり、親しまれる紙面づくりに努めてまいります。町民の皆様のご意見ご感想を是非お寄せください。

編集後記